

(様式 1-3)

福島県広野町既存ストック活用まちづくり事業計画に基づく事業等個票

令和元年 5 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	広野町まちづくり調査		事業番号	A-1-1
交付団体	広野町		事業実施主体		広野町	
総交付対象事業費	6,220 (千円)		全体事業費		6,220 (千円)	
事業概要						
○事業の概要						
<p>JR 広野駅西側に位置する市街地エリアは、広野町役場やこども園・小・中学校などが立地しており、また中高一貫校が開校したところであり、新たな土地利用手法を導入しながら市街地整備を行う必要がある。</p> <p>さらに、現在町が駅東側の宅地造成等の面的整備を図っているところ、将来的に駅東側の町民と駅西側の町民をつなぐ新たなコミュニケーションの場を確保することが必要な状況にある。</p>						
・空き家等既存ストックの現況把握						
JR 広野駅西側に位置する市街地エリアについて、空き家等の現況を把握する。						
・具体的な対策の検討						
住民のコミュニティの醸成及び生活環境の向上、または住民の移住促進等に資するよう地域の実情を考慮し、さらに既存の市街地が形成されている地域でのまちづくりへの波及効果を考慮して、空き家等の使用見通しを調査し、その活用計画を策定する。						
○既存ストック活用まちづくり支援事業計画と復興・まちづくり計画との整合性（実施要綱第 4 の 6 の一）						
※復興・まちづくり計画の該当箇所を添付してください。						
「広野町復興計画（第二次）」の「3. 復興構想」の「(5) 土地利用のあり方」の「①市街地（JR 広野駅西側）の土地利用」中、「JR 広野駅西側に位置する市街地エリアは、広野町役場や小・中学校などが立地しており、新たな土地利用の手法を導入しながら市街地整備を行います。」に位置づけられる。						
当面の事業概要						
<令和元年度>						
当該地域に係る実態把握・対象検討・所有者探索等に係る調査を実施。						
空き地・空き家等の既存ストックの状況及び地域の帰還環境整備との関係						
・空き地・空き家等の既存ストックの状況						
JR 広野駅西側に位置する市街地エリアは、使用されていない病院・幼稚園、空き家等が点在しており、このエリアについて現況を把握する。						
・地域の帰還環境整備との関係						
本計画の策定により、町の復興拠点である広野駅東側の復興により増加する当該地区の居住者や、広野駅利用者、広野駅西側市街地住民の新たなコミュニケーションの確保に資することで、帰還促進と新たな交流人口の拡大に繋げる。						
関連する事業の概要						

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	